

# 絆きずな 24号

平成29年2月23日発行

発行責任者：吉竹一泰

文責：喜多川直子

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

## 価値

だれが決めるのですか。  
一人の人間としての価値を。

人間の価値とは、なんですか。  
貧しければ

一人の人間としての価値がないのですか。  
生まれたところで、

人間の価値が決まるのですか。  
一人の人間として

認めてもらえないのでしょうか。  
そんなことで

一人の人間としての価値を  
決めてしまうのですか。

人間の価値とは、その程度のものなのでしょうか。  
私たちは、みんな同じです。

みんながあの子を、  
なんの価値もない、石だ、というのなら、

私たちも、石なのです。  
みんながあの子を

じゃまになる、草だ、というのなら、  
私たちも同じ草なのです。

けれどみんな、石でも、草でも、ありません。  
みんな同じ人間なのです。

一人の人間としての価値を、  
だれもがもっているのです。

だれにも決められません。  
一人の人間としての価値を。

だれにも決められません。  
一人の人間としての価値を。



### 【感想より】

#### 1年生

- ・一人の人間としての価値、それは自分でも考えたことがなかったのですが、これを読んで、石でもない草でもない、みんな同じ価値を持って生まれてくると思いました。だれにも決められない人間としての価値を忘れないで生活していきたいです。また、人に認めてもらえるようがんばらないといけないことが、とても深く知れてよかったです。
- ・人を見た目だけとか、行動・発言だけで価値を決めてしまうのは良くないと思います。その人の価値を決めようと将来にもつながり、「差別」になってしまうと思ったからです。みんな同じ人間だから、同じ社会の中で生きていくから、「価値」というのは決めてはいけないものだと思います。
- ・人間は皆同じだと思います。住む家、場所が違っていても、皆同じ人間だと思います。だれも人間の価値を変えることはできないと思います。人間としての価値は、自分でもなく友達でもなく、だれかが決めるものではないと感じました。
- ・私は人はみんな同じだと思います。生まれた場所が違って、その人を嫌ったり、いじめたりする理由はないと思います。誰だって同じ接し方をしてほしいと思うし、自分の生き方に他人がごちゃごちゃ言う必要などないと思います。世界にたった一人、みんな違う生き方の人がある。「人間の価値」とはよく分かりませんが、みんな違ってみんないいと思います。私はこれからの自分の生き方を大切にしていきたいです。

#### 2年生

- ・まず私は「価値」というのは何だろうと思いました。この話を読んでいくと、「価値」というのは位を表すようなものかなと思いました。「価値がない」と言う人の方が価値がないのではないかと思います。価値のない人なんていない、一人一人が何か良い所を持っているので、それを見つけていくのが良いと思いました。
- ・人間としての価値はだれにも決められないけれど、自分の価値を自分自身で上げていくことはできると思います。みんな同じ人間で、一人の人間としての価値を持っていて、それは生まれたところなどで決まるのではなく、その人自身の努力や行動によって上がっていくものだと思います。一人の人間としての価値を大切に、それを上げていけるような行動ができるようにしたいです。

